



西中だより

自信をもって自分を語る生徒の育成

令和8年

9月号

柳井西中学校



今月の Best shot

夏休み中、文芸部が俳画教室に参加し、個性あふれる作品をつくりました。



今月のトピックス

TOPICS

01 卓球部が県選手権大会に出場しました



7月22日(水)、女子団体と個人戦の山本晃央君(3年)、石原芽花さん(2年)が出場しました。1回戦敗退となりましたが、最後まで堂々と戦いました。

02 SNSの危険性について意見交換しました



7月27日(月)、生徒会の3年生が柳井地域少年リーダーズサミットに参加し、他校の生徒と意見交換を行いました。

03 防災について熟議を行いました



7月30日(木)、余新地域協育ネット研修会で、生徒、保護者、地域の方々、教職員が集い、防災について熟議を行いました。

04 美しい歌声を地域の方々へ届けました



8月1日(土)、合唱部が余田コミュニティの夕べで美しい歌声を披露しました。

05 体育祭に向けた練習がスタートしました



夏休み中、体育祭実行委員・隊係・ダンス実行委員が、体育祭の応援合戦や全校ダンスに向けた練習を開始しました。

特集 1

地域で考える防災 ～余新地域協育ネット研修会～



7月30日(木)、余新地域協育ネット研修会を開催しました。生徒、保護者、地域協育ネット協議会委員、小中学校の教職員が集まり、山口県学校防災アドバイザーの弘中秀治様から、「災害から身を守るために私にできること」と題してお話を伺いました。講演後は、余新地区で災害が起こった場合を想定し、今のうちからできることや、備えておかねばならないことについて熟議を行いました。中学生の司会進行のもと、小学生も積極的に自分の意見を発表し、参加者は互いの考えを聞きながら、地域で支え合うために必要なことを考えました。災害は、いつ起こるか分かりません。日頃から地域の人々が顔を合わせ、いざという時に助け合える関係を築いておくことの大切さを、世代を超えて確かめる有意義な研修会となりました。

特集 2

地域に響いた18人の歌声 ～余田コミュニティの夕べで合唱を披露～



8月1日(土)、合唱部が余田コミュニティの夕べで、日頃の練習の成果を披露しました。昨年度まで「有志合唱団」として活動していた生徒たちは、今年度から合唱部として新たなスタートを切り、現在は18名が所属しています。週2回の練習では、仲間と声を合わせながら、一つの曲をつくり上げることに取り組んでいます。当日は、アンジェラ・アキさんの「手紙～拝啓 十五の君へ～」と、Mrs. GREEN APPLEの「春愁」の2曲を披露しました。会場に響き渡る伸びやかな歌声と、心をつなげて歌う姿は、多くの観客を魅了しました。地域の皆様に歌声を届けるとともに、生徒にとっても、音楽を通して人とつながる喜びを感じる貴重な機会となりました。今後の合唱部の活動にも、ぜひご期待ください。

実り多い2学期のスタート ～その想い、相手に届いていますか？～



8月25日（火）から、2学期が始まりました。真っ黒に日焼けした生徒や、夏休みの充実感を感じさせる笑顔で登校した生徒の姿が見られ、学校にぎやかな声が戻ってきました。始業式では、これから始まる2学期を、仲間とともに成長できる実り多い毎日にしてほしいと伝えました。

校長式辞では、「その想い、相手に届いていますか？」をテーマに、生徒へ語りかけました。その中で紹介したのが、日本で親しまれているインドカレーの店の工夫です。スパイスを生かした本来のおいしさを大切にしながらも、辛さを選ぶようにしたり、食べやすい形にしたりすることで、今や多くの日本人に受け入れられるようになっています。自分たちらしさを失うのではなく、相手に受け取ってもらえるよう工夫することの大切さを、この例を通して考えました。

自分の思いや頑張りも、心の中に抱いているだけでは、相手に十分伝わらないことがあります。相手の立場を考えて言葉を選んだり、伝え方を工夫したり、ときには行動で示したりすることで、初めてその思いが届きます。相手に伝わることを意識することは、自分を変えるのではなく、自分のよさや大切にしていることを、より分かりやすく届けるための工夫です。

2学期には、体育祭や文化祭など、大きな行事が続きます。自分たちの思いや頑張りや、仲間や後輩、保護者、地域の方にどのように届けるのかを考え、言葉や行動を工夫してほしいと思います。一人ひとりが様々な場面で力を発揮し、学期の終わりに自分の成長を自信をもって語れることを期待しています。

体育祭に向け、動き出す夏 ～実行委員・隊係・ダンス実行委員の活動～



夏休み中から、体育祭に向けた準備と練習が始まりました。体育祭実行委員会は、全校生徒が気持ちよく競技に取り組めるよう、グラウンドに体育祭練習に必要なラインを引きました。暑い日差しの下での作業でしたが、仲間と声を掛け合いながら、一つ一つのラインを丁寧に引いていました。目に見える形で会場を整える活動は、体育祭を支える大切な第一歩となります。

隊係は、各色の応援をどのように盛り上げるかを考え、応援の内容を話し合いました。自分たちの色のよさをどう表現するか、他の生徒が一つになれる応援にするにはどうすればよいかを考えながら、準備を進めています。ダンス実行委員は、全校生徒に振り付けを教えることを見据え、まずは自分たちが動きを身に付けようと、繰り返し練習に励みました。自分たちが手本となる責任を感じながら、一つ一つの動きを確かめる姿が見られました。

暑さの厳しい中での活動でしたが、生徒たちは汗をかきながらも、体育祭をよりよいものにしたいという思いを胸に、必死に取り組んでいました。実行委員、隊係、ダンス実行委員の努力が、これから全校生徒の活動へと広がっていきます。一人ひとりの準備と工夫を重ね、みんなでつくり上げる体育祭にしてほしいと思います。

クローズアップ

地域のために、自分から動く ～夏休みの地域行事ボランティア～



夏休み中に開催された「余田コミュニティのタベ」と「新庄ふれあいの集い」では、会場準備のボランティアに多くの生徒が参加しました。地域の行事を支える一員として、それぞれが自分にできることを考えながら活動しました。

主催者の方からは、「中学生が非常に積極的に活動してくれたので、とても助かった」との言葉をいただきました。生徒たちが地域のために力を尽くす姿が、地域の方々の支えにつながったことを、学校として大変うれしく思います。

本校では、地域のよさを知り、地域の方々との関わりを通して、ふるさとへの誇りを育む「西中PRIDE」を大切にしています。地域の行事に参加することは、誰かの役に立つ喜びを感じるだけでなく、自分たちの地域が多くの人々の思いと支えによって成り立っていることに気付く機会にもなります。

これからも、地域の方々とのつながりを大切にしながら、自ら考え、行動できる生徒の姿を増やしていきたいと思います。

Snap Shot



西中の様子を
ホームページで！



ホームページはこちら



生徒の活動の様子を
毎日配信中！
是非、ご覧ください！